

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	産業振興課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2. 「二宮ブランド」の開発と活性化	
分野別方針	(3) 漁業基盤の整備・維持管理の推進		実施計画事業	漁港整備事業 (No.52)	
予算等事業名	漁港整備事業				
目的	漁港の整備及び維持管理を行う事で環境を保持し美化に努める。				
内容	漁港の整備及び維持管理を行う事で環境を保持し美化に努める。				
根拠法令・条例等	漁港漁場整備法、海岸法、二宮町漁港管理条例				
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

総合評価

実績	漁港維持管理のための修繕、看板設置等の実施。漁港海岸保全のための養浜工事。漁港区域内整備のための不要物の撤去。人工リーフ設置効果確認のためモニタリングを実施。				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	漁業従事者数				
前期(27年度)目標値	24人(正組合員)			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	高齢化にともなう漁業者の減少および、後継者不足は深刻であり現状維持程度が妥当である。	
	24人				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		15,653	15,541				
財源内訳	一般財源	15,595	15,482				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	58	59				

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 二宮町が漁港管理者であるため。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 二宮町が漁港管理者であるため。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 陸域部の整備に向け徐々にではあるが進捗しているため。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 必要最小限を見極め、実施している。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 町の水産業の状況を見極めながら、漁港機能維持のため引き続き実施していく。また、陸域部の整備については観光振興の視点も含めて検討を進めて行く。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	将来構想に対しては、費用対効果を念頭におきながら、高波対策と背後地の整備を進めていく。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	人工リーフ設置の効果を検証し、今後の漁港区域内整備に向けた基礎データが整ったので、引き続き次の展開を推進する。		
今後の方向性	漁業振興のため陸域部の整備、さらには防潮堤の検討を進める。		